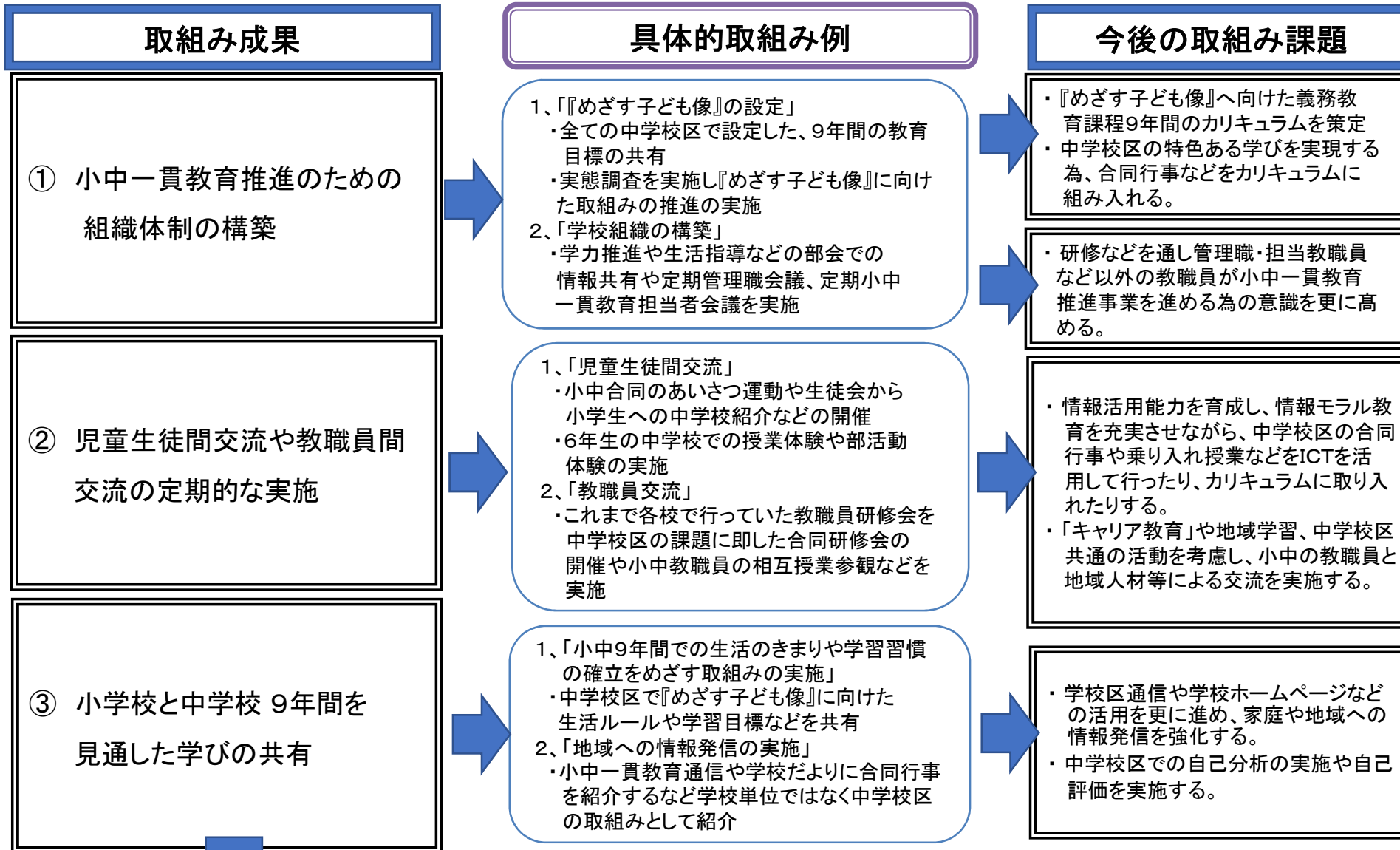


# 小中一貫教育における取組みの「成果」と「今後の課題」



- ◎ 児童会・生徒会の交流や合同行事の実施など中学校区の児童生徒と教職員と一緒に活動する取組みが実を結び、児童生徒が他校種間交流や他校との教育活動に対し肯定的に向き合える機会が増えた。
- ◎ 事業開始前までは、各小学校・各中学校でそれぞれの課題に対して研修を実施していたが、事業を実施することにより、中学校区の課題に応じた研修講師を中学校区で招聘し、合同で小中の教職員が受講することで、中学校区の課題に対する解決策を考える機会が構築された。

# 今後の小中一貫教育の方向性について

## 『めざす子ども像』

これまでの小中一貫教育  
の取り組み成果

- ① 小中一貫教育推進の  
為の組織体制の構築
- ② 児童生徒間交流や教  
職員交流の定期的な  
実施
- ③ 小学校と中学校 9年間  
を見通した学びの共有



【小中一貫教育の方向性を達成するために取組むこと】

1. 総合学習や特別活動など、9年間を見通した教育活動の充実を図る
2. 中学校区で連携する体制を更に整える
3. 情報活用能力を育成し、情報モラル教育を充実させながら児童生徒間交流  
や乗り入れ授業、合同行事等をICT等の活用も含めて展開する
4. 教職員の合同研修など情報共有の回数や内容を更に充実させる
5. 校長研修会や小中一貫教育担当者研修会などで小中一貫教育の啓発を実施し  
教育委員会と中学校区で取り組み推進を実施する
6. 各中学校区における小中一貫教育アンケートの実施と自己評価を実施する
7. ホームページや小中一貫通信などで情報発信を行う

八尾市  
小中一貫教育  
取り組み指針

【今後の小中一貫教育の方向性】 ～今までの取組みをいかし、更なる飛躍をめざす～

小・中学校共通の「めざす子ども像」の実現を図るために、9年間を見通したカリキュラムを編成して、  
それに基づき行う系統的な教育

1. 「めざす子ども像」の実現に向けた教育
2. 就学前施設と連携して、9年間を見通した中学校区組織体制の構築
3. 児童生徒間交流・教職員間交流の更なる充実
4. 中1ギャップの克服と豊かな人間性の育成
5. 地域と共に歩む、信頼される学校づくり

八尾市  
小中一貫教育  
今後の方向性

キャリア教育の視点をいかした義務教育9年間を見通した一貫した指導  
～社会に開かれた教育課程～

八尾市小中一貫  
教育基本方針

創意工夫をいかした特色ある教育活動

学習指導要領